足柄西部環境センター　視察時メモ帳

視察・見学年月日：　　年　　月　　日（　　）
視察・見学時間：　am　pm　　：　　～　　：

ごみの減量化・再利用・再資源化・環境負荷の軽減に努めましょう！！

足柄西部清掃組合
〒258-0113　神奈川県足柄上郡山北町山北 3680
TEL 0465-76-4655　FAX 0465-76-4633

足柄西部環境センター

ごみ焼却施設／粗大ごみ処理施設

足柄西部清掃組合

ごみ処理の流れ

ごみ集積所

収集委託業者により足柄西部環境センターへ運ばれます。

足柄西部環境センター

1日に約30台分のごみが運ばれてくるよ。20t～30tの量になるよ。

足柄西部環境センターでは、みんなの家から出たごみの焼却や破砕処理を行っています。

ごみ計量機

20tまで量れるよ

最初にごみ計量機により、ごみの重さを量ります。処理料金を頂くためや、ごみの量を集計するためです。

燃えるごみコース

不燃ごみコース

クレーン操作室

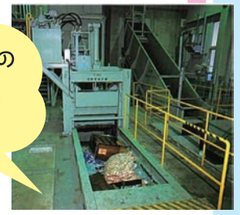
11名の作業員が2班体制で朝8時から夜8時まで焼却しているよ。

ごみピット

ピットの高さは22mで約150tのごみが入るよ。

燃えやすくするため、クレーンで高い所からごみを落とし、その衝撃で袋を破き、ごみを細かくしています。これを攪拌作業と言います。

切断式破砕機



この破砕機の力は120tもあるんだよ。

30cm以上の燃やす事が出来る粗大ごみ（タンス・布団等）を細かくしています。細かくなったごみは、ごみピットへ送られ焼却されます。

分別された缶類

分別された不燃ごみ

分別が出来ていないごみは、再処理が行われるんだ！分別が出来ていないごみは、機械を止めたり、機械を壊す原因になるんだ！

供給コンベア

不燃ごみを破砕機に送るためのコンベアです。ある程度の分別を行って投入します。

焼却炉

焼却炉は2基あって高さ12mあり、2基で1時間に約3tのごみが燃やせるよ。約850℃～900℃で燃えているよ。

この焼却炉は流動床式と言って、角型の炉で出来ていて、下の部分に流動砂がいっぱい入っています。この砂を重油バーナーで600℃の高温に熱し、更に底部（砂の下）の散気管から熱風によって砂が流動状態に動きます。砂が動く事によって、ごみの分散、乾燥、過熱、燃焼が効率よく行われ瞬時に焼却されます。

排ガスに消石灰と活性炭を吹き込み有害物質を取り除きます。次にろ過式集塵器（バグフィルター）でばいじん（灰）と排ガスに分けられます。排ガスは白煙防止用空気加熱器で暖められた空気を排ガスと混ぜることによって、白い煙が排出されないようになっています。ばいじん（灰）は、灰処理装置（ダイオブレーカー）によりダイオキシン類が取り除かれます。

流動砂

石英が主成分のけい砂と言う砂を使ってるよ。

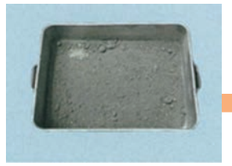
煙突

煙突の高さは50mだよ。

お風呂

排ガスの余熱を利用して温水を作り、施設内の給湯・暖房に利用しています。

キレート処理灰



灰は重金属除去薬品（キレート剤）と混ぜ無臭化・無害化しています。

破砕後の不燃物

この圧縮装置の力は147tもあるんだよ。

圧縮することで沢山の量を積めるよ。

埋立コース

リサイクルコース

焼却灰・不燃物の最終処分場

焼却灰と不燃物は、県外の最終処分場へ埋立処分しています。

回転衝撃式破砕機

不燃ごみは破砕機に送られ、粉々に砕かれます。粉々になった不燃ごみは、磁選機で鉄が選別され、次に可燃不燃分離機とアルミ選別機により、可燃物とアルミと不燃物に分けられます。可燃物はごみピットへ送られ焼却されます。

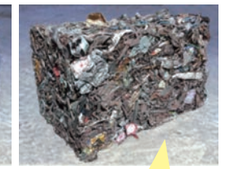
アルミ圧縮成型物

重さ約25kg、アルミ缶約1400個分になるよ。

スチール圧縮成型物

重さ約40kg、スチール缶約800個分になるよ。

粗大屑圧縮成型物



燃えるごみに混ざっていた鉄分と粗大屑の鉄分だよ。

再生業者へ売却

圧縮形成物やその他の鉄分は、再生業者に売却し、新しい製品に生まれ変わります。